

～ご来館される際のお願い～

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、ご来館の際には手洗い、手指の消毒、咳エチケットなどのご協力をお願いいたします。また、体調がすぐれない場合は、ご来館を控えていただくようお願いいたします。

おはなしの会&おりがみの会

〈日時〉 おはなしの会(第1・3・4) 7月4・18・25日(土) 8月1・15・22日(土) ※第5土曜日はおやすみです。 午後2:30~3:00	〈場所〉 土崎図書館 2階 研修室 ※新型コロナウイルス感染症予防対策のため、広いお部屋で実施します。
〈対象〉 幼児から小学校低学年	〈申込〉 不要(当日直接会場へ)
〈日時〉 おりがみの会(第2) 7月11(土) 8月8日(土) 午後2:30~3:00	

赤ちゃんのためのおはなし会まるっ

〈日時〉 7月16日(木) ※8月はおやすみです。 午前10:00~10:30	〈対象〉 0,1歳児とその保護者
〈場所〉 土崎図書館 2階 研修室	〈内容〉 赤ちゃんが楽しめる絵本や手遊びなど
	〈申込〉必要 カウンターもしくは電話にて

ブックスタート推進事業

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、ブックスタートでは絵本の読み聞かせを行わず、1階カウンターにてブックスタートパックの受渡しのみを行っています。(6月27日現在)

〈日時〉 7月2日(木)、8月6日(木) 午前10:30~11:30 午後2:00~3:00	
〈場所〉 土崎図書館 1階 カウンター	
〈対象〉秋田市在住の0歳児とその保護者	

今年も、秋田港ライオンズクラブ様と、元土崎図書館友の会会長の大森和美様のご遺族から、沢山の本を寄贈いただきました。ビジネスに関する本や、子ども達の将来に役立つ本など、1階の展示コーナーに設置しています。

ライオンズ文庫

(秋田港ライオンズクラブ様より)



大森文庫

(大森和美様のご遺族より)



7・8月の行事予定

- 7/2 ブックスタート
- 7/16 おはなし会○
- 7/23、24
 小学生の選書体験
- 8/5 夏休み子ども講座
「ごみ減量のお話とマイバッグづくり」
- 8/6 ブックスタート
おはなしの会(第1.3.4土)
おりがみの会(第2土)
対面朗読(火・木)
※テレホンサービスのみ

行事のある日 休館日

7月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

図書館員のつづやき

我が土崎地区は、6月の中旬から風の流に乗って太鼓と笛の音が聞こえてきますが、今年は聞こえずさみしい限りです。このままお祭りがなく、時が過ぎ去ろうとしています。カスベの煮る匂い、曳山の油の匂い、ジョヤサ・ジョヤサのかけ声、曳山のきしむ音、そして「また来年」と寂しさを含めたあいや節。来年はワイッタゲ楽しみたいという思いでいっぱいこの頃。ああさみし…。(上村)

ほくとライブラリー 

土崎図書館だより

令和2年度 第2号 2020年7月発行

バッタ博士の昆虫記が児童書に!

秋田市出身の昆虫学者「前野ウルド浩太郎」氏より、子ども向けに出版された『ウルド昆虫記 バッタを倒しにアフリカへ』が秋田県内の小学校と図書館へ寄贈されました。前野博士は、小学生の頃、土崎図書館から『ファール昆虫記』を借りて読んだのがきっかけとなり、昆虫学者を目指した方です。土崎図書館には特別にサイン入りの本と、本の中に出てくる「バッタのキャラクターのしおり」をご家族の方から寄贈いただきました。児童コーナーのファール昆虫記の棚に展示していますので、ご来館の際には、ぜひご覧下さい!



コロナに打ち勝ち
来年こそは「ジョヤサ! ジョヤサ!」
と盛り上がる!!

秋田市立土崎図書館(ほくとライブラリー)
〒011-0946 秋田市土崎港中央六丁目16-30
Tel 845-0572 Fax 845-9912
市立図書館ホームページ
<https://www.city.akita.lg.jp/kurashi/shakai-shogai/1008469/index.html>



新しく入った本の紹介

(担当:小玉)

ジオスケープ・ジャパン
地形写真家と巡る絶景ガイド
竹下 光土／著
山と溪谷社

454

日本列島の真下は、「プレート」と呼ばれる硬い岩盤が4枚接する世界でも珍しい密集地帯です。全国各地の不思議な地形や地層は、このプレートの動きによってもたらされたもの。まさに圧巻の絶景を楽しみながら、日本列島の成り立ちも学んでみませんか。

鏑木清方 江戸東京めぐり

宮崎 徹／監修・文
求龍堂

721

東京神田に生まれた画家の鏑木清方は、日本画だけでなく、人々の暮らしや移り変わる東京の町並みについて述べた随筆も数多く残しています。清方の愛した江戸の面影が残る東京。本書では、名画の舞台となった場所を巡り、当時の残り香を感じられるよう工夫されています。

ガール・コード

プログラミングで世界を変えた女子高生二人のほんとうのお話
ソフィー・ハウザー&アンドレア・ゴンザレス／著
堀越 英美／訳
日版アイ・ピー・エス

936

女子高生向けのプログラミング講座で出会ったソフィーとアンディ。アイデアを形にできるツールを手に入れた2人が、最終課題として制作したゲームは『タンポン・ラン』。暴力による血と生理による血の違いを風刺したこのゲームによって、彼女たちの世界は大きく変化していく…。

新しく入った子どもの本

(担当:近藤)

コトノハ町はきょうもヘンテコ
昼田 弥子／作
早川 世詩男／絵
光村図書

91ヒ

最近、得意になって天狗になってない？この町で調子にのっていると鼻が伸びて天狗になるかも…！コトノハ町はことわざや慣用句が言葉どおりになる町。のびのび過ごしていると背中から羽が生え、恥ずかしがると顔から火が出ちゃう！さあ、ヘンテコな町の愉快なお話をご一読あれ。

ドーナツのあなのはなし

パット・ミラー／文
ヴィンセント・X・キルシュ／絵
金原 瑞人／訳 廣済堂あかつき出版

Eキ

1984年、ある男性が「ドーナツの穴の発明者として」アメリカ・パン協会から功績をたたえられました。その名もハンソン・クロケット・グレゴリー船長。彼はなぜドーナツに穴を開けたのか？穴はどうしてあるのか？美味しいドーナツの発明物語を描いたノンフィクション絵本です。

有毒！注意！危険植物大図鑑

保谷 彰彦／写真・文
あかね書房

47

綺麗な花には棘…だけではなく毒もある！！例えば、スズランを活けた水は毒になり、飲むと嘔吐、頭痛、心不全を起こし最悪の場合には死に至ることも。しかし有毒植物の花は美しいものが多く、時にはその毒が薬として利用されることもあります。危険で^{こわくてき}蠱惑的な植物の世界を見てみませんか？

おすすめ BOOK リスト

今回のテーマ ICT, AI, これからの暮らし (担当:辻)

コロナ禍を通じ、「テレワーク」や「オンライン教育」、更には「新しい生活様式」や「コロナ後の社会」などへの関心が高まっています。これらにどう向き合っていきますか？

感情労働マネジメント

対人サービスで働く人々の組織的支援

田村 尚子／著 生産性出版 366

肉体労働、頭脳労働、そして第3の労働形態といわれる感情労働。経済のサービス化の進展により、感情労働を伴う顧客対応現場が増えています。そこでは個人の対応レベルを超え組織的な支援が求められてきています。その対応方策を紹介します。

AI vs.教科書が読めない子どもたち

新井 紀子／著 東洋経済新報社 007

AI（人工知能）技術の普及が進んでいます。将来、AIで多くの仕事が代替されるのか？そして、人間はAIにできない仕事ができるか？AIの限界が示される一方で、大規模な調査の結果が示すことは…。

池上彰さんと学ぶ みんなのメディアリテラシー

(全3巻) 池上 彰／監修 学研プラス 36

メディアリテラシーとは、メディアからの情報の善し悪しを判断して、うまく活用する力のこと。「①メディアの役割とその仕組み」「②インターネットの便利さ・怖さ」「③スマホ・SNSとの正しい付き合い方」について学びます。

ミッションをクリアしてときあかす！AIのひみつ

(全3巻) 香山 瑞恵／監修 フレーベル館 00

AIは、私たちの生活と密接に関連し、暮らしを支える存在になってきています。そんなAIについて、ミッションにチャレンジしながら、人間との関わりを知ることができるシリーズです。

「その日暮らし」の人類学 もう一つの資本主義経済

小川 さやか／著 光文社 389

成果主義、資本主義の価値観で動く日本の社会。その一方で世界には異なる価値観で豊かに生きている社会や経済がたくさんあります。「Living for Today」を人類学的に追求し問い直します。